

ごあいさつ

当会は、昭和23年の設立以来、佐賀県内のJAと一体となり、農業専門金融機関として農業の発展と農家経済の向上を図るとともに、地域金融機関として地域社会・地域経済の繁栄に貢献すべく歩んでまいりました。これもひとえに皆さまのご理解とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

また、本年も当会の業務内容や活動状況などについて、皆さまにご紹介するため「ディスクロージャー誌」を作成し、お手元にお届けすることにいたしました。この冊子により、皆さまの当会に対するご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

さて、今日の事業を取り巻く環境について、農業面においては、国際情勢の変化に伴う生産資材価格の高止まりと適正な価格形成の必要性を背景に「食料・農業・農村基本法」が改正され、食料安全保障への期待も含め、より一層、JAグループにしかできない農業所得増大・農業生産拡大に向けた取り組み支援と、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合としての役割発揮が強く求められております。

また、金融面では、日銀によるマイナス金利政策の解除以降、「金利のある世界」への回帰により、運用の源泉となる調達的重要性を再確認するとともに、JAバンクアプリの普及など、利用者目線に立った金融サービスの提供やマネロン対策の拡充も含め、事業環境の変化に対する柔軟な対応が強く求められております。

このような情勢の中、当会では不断の取り組みとしてJA自己改革を実践し、「利用者がつながりたくなるJAバンク佐賀の実現に向けた金融仲介機能の発揮」を基本目標に掲げた「JAバンク佐賀中期戦略」の達成に向けた事業を展開するとともに、「農業・くらし・地域への貢献に向けたJAとの一体的事業運営の更なる深化」、「経営資源の有効活用による安定収益の確保および長期安定還元の継続」を基本方針に掲げた「第15次中期経営計画（令和7年度～令和9年度）」の初年度として、将来にわたる安定的な事業基盤の確立に向け、役職員一丸となって取り組み続けることとしております。

今後も当会は、永年にわたって培った地域の皆さまとの信頼関係を基盤に、JAの総合力を発揮しながら、農業メインバンクとして、また、地域のメインバンクとして役割を果たすとともに、引き続き信頼される金融機関であり続けるため、利用者保護態勢等の拡充に努めるとともに、法令等を遵守するなど、コンプライアンス態勢の拡充等に取り組んでまいり所存でございます。

皆さまのご理解となお一層のご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年7月



経営管理委員会会長
大島 信之

代表理事理事長
材木 洋幸